

# 令和2年第1回公立豊岡病院組合議会定例会

## 一般質問通告要旨一覧

日時：令和2年3月18日(水) 午前9時30分～

場所：公立豊岡病院組合議場(統轄管理事務所第1会議室)

### No. 1 (13番 吉田 俊平 議員)

#### 1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策について

- (1) 豊岡病院の受け入れ態勢はどうなっているか。
- (2) 他の医療センターの受け入れ態勢はどうか。

#### 2 これからの地域医療について

- (1) 医師・看護職・技術職・病床・医療機器等の適正配分は但馬圏域で検討し、共有などする方向に移行していくべきであると考えがどうか。
- (2) 病病連携・病診連携・医療介護連携などの更なる連携強化が必要となっている中で、地域医療連携推進法人の設立に向けて豊岡病院が但馬地域の基幹病院として推進していくべきと考えるがどうか。

#### 3 収益化・黒字化について

予算通りに決算を結ぶことが出来ない理由は何かと考えたとき、3条収支で、豊岡病院は財務改善によってかなりの努力をしていると評価できる。費用抑制策は一定の成果や指標改善の結果を示しているが、費用の伸びが収益の伸びを上回っていることから更に高度な急性期病院を実現し、収益化(特に入院や特定病院群への復帰など)を目指しながら不採算地区病院の財政措置を受けられるような検討も必要である。

日高医療センターは現在看護師の数が過大であり眼科センターの移転に伴う収支計画の見直しの中で病床の存否や病床数を経営判断すべきである。

出石医療センターは財務状況が一番悪いが、不採算地区病院の財政措置の結果、黒字化しているため現状を維持する。

朝来医療センターは外来・入院とも手術等が少なく、収益化・黒字化が非常に難しいため費用抑制を図りながら不採算地区病院の財政措置を受けられるような検討や療養病床の廃止検討が必要である。また、4条収支では減価償却費や利益剰余金の範囲内での投資に方向転換しないと永続的経営や計画的投資とは言えないと考えるが、それぞれのどのように考えているか。

#### 4 朝来医療センターについて

- (1) 病床利用率は 64.1%と低く、許可病床数 150 床が必要なのか疑問である。100 床に減少した場合にはどういった問題が生じるか。また、受入入院患者数は医師・看護師数により物理的な制限を受けると思われるが、許可病床 150 床は実現可能な数字なのか。
- (2) MRI の導入について、医療資源の適正配置の観点から同一圏域内での多重投資は必要ない。従来はコストと読影医の観点からしか説明がなされておらず、不要な混乱や誤解が生じているので、適切な説明をして頂きたい。
- (3) 整形外科医の負担が非常に重く軽減が必要であり、医師の増員が必要である。

#### 5 日高医療センターについて

- (1) 病床利用率は 26.3%と非常に低いが、病床を廃止した場合の収支予想はどのようになるのか。
- (2) 眼科移転後の収支計画はどのようになるのか。

#### 6 看護師の夜勤・交代制勤務について

公益社団法人の日本看護協会が定めた「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」の「勤務編成の基準」について、どの程度実現出来ているのか。

#### 7 B C P 計画について

現在、業務継続計画（B C P）は災害拠点病院である豊岡病院しか策定義務がないため、他の医療センターでは策定されていないが、大規模災害に備えた B C P を策定すべきと考えるがどうか。

### No. 2（5 番 上田 倫久 議員）

#### 1 感染症指定病院としての危機管理について

新型コロナウイルス感染症の具体的治療のフローについて

#### 2 経営改善に向けての重点的な取組について

各病院の重点的な取組について

#### 3 地域から信頼される病院づくりの職員の研修について

地域住民、患者から信頼される病院とは

#### 4 豊岡病院を取り巻く環境について

豊岡病院の役割について

## No. 3 (10番 村岡 峰男 議員)

- 1 コロナウイルス対策について
  - (1) 第2種感染症医療機関としての対応
  - (2) PCR検査の保険適用
  
- 2 診療報酬改定について
  - 豊岡病院組合への影響
  
- 3 眼科移転について
  - (1) 駐車場建設予定場所の土質調査は十分か
  - (2) 駐車場建設場所の再検討を求める